

会長退任のご挨拶

武蔵工業大学 古浜 庄一

私は 1981 年より 5 年間本 HESS の副会長、その後今年まで 12 年間会長として異常に長期間重い役目をつとめさせられて来ました。その間事務局を武蔵工業大学内に置き、事務局長は同大学の多田寿雄、松下智彦および山根公高氏がほとんどボランティア的に努め、さらに室代や電話料は無料で過せたことで、本会の維持、運営ができました。これらの各氏に深甚な謝意を表したい。幸いにして今回、編集委員会委員長の斉藤泰和先生（東京理科大学）が私の後任に決まり、かつ谷生重晴先生（横浜国立大学）が事務局長および横浜国立大学で事務局を引き受けていただくことになり、私の退任が可能となりました。今迄の会員諸兄に対する私共の運営およびサービスの不行届について何卒ご了承くださいたいと存じます。又非力な会長古浜にご協力、ご支援を賜りました HESS の役員および会員の方々に深甚なる感謝を申し上げ、さらに次期会長および事務局について一層のご協力をお願いする次第であります。

さて、いよいよ新エネルギーとして水素の実用化が迫って来ています。又一方で実用化のための新たな革新的技術の研究開発が数多く残されています。HESS はそれらの研究の内容を議論し、できるだけ正確な情報を会員に送り、水素エネルギーの実用化を早めるための重要な役目を果たされることを期待します。

会長就任のご挨拶

東京理科大学 斉藤 泰和

古浜庄一先生のあとをうけ、水素エネルギー協会・会長の大役を担うことになりました。非力ではありますが、何とか任を全うしたいと思っております。会員諸兄のご支援をよろしく願い申し上げます。

いま、地球環境への対応は時代の最関心事であります。水素という元素のもつ可能性を考えると、エネルギーの要素技術ばかりでなく、システムをもキー・コンセプトとする本協会の果たすべき役割は、極めて大きいものがあります。しかも、会員それぞれが固有の活動分野をもちつゝ本協会に所属するという、インター・ディシプリナリーな特色が見受けられます。会誌、講演会、研究発表会などを通してそのメリットが充分生かされるよう、会の運営をはかりたいと考える次第です。

また、昨年開催された第 4 回日韓水素エネルギー合同シンポジウムは、国外との人的交流・情報交換に成果を挙げました。この 6 月にブエノス・アイレスで開かれる世界エネルギー会議の次は、北京と聞いています。国際化の流れを中国との間にもっと拡げていきたい、と思っております。